

第54号



NPO法人ユーアイやちよ
〒276-0034
八千代市八千代台西 8-16-1
TEL.047-482-4109
FAX.047-482-4179
<http://www16.ocn.ne.jp/~uiyatiyo/>

介護保険制度 10年とユーアイやちよ

2000年4月、八千代市内の訪問介護の事業所は10事業所あまり。当ユーアイやちよはまだ、任意団体だったため、千葉県指定事業所ではなく、八千代市の利用者さんにのみ、サービスを提供する基準該当事業所としての登録でした。それでも、すでに当会の有償サービスを利用していた利用者さんから、プランを依頼されたのと、他の居宅事業所からの訪問サービス依頼もあってスタートから、訪問介護は30ケースあり、市としても大事な事業所(?)だったかもしれません。今思えば、まさに任意団体の事業所。ただただ、依頼にこたえ、決められた手続きで、お金をいただくことで、精いっぱいでした。翌年、先輩たちがNPO法人申請の手続きをしてくれ、翌年NPO法人となり、千葉県の指定訪問介護事業所となりました。そして担い手も徐々に増え、事業所としての形態も、徐々に整ってきました。

国では次第に、基準を厳しく、利用内容の制限も多くなり、当会で
行っていた制度外のサービスとの違いも明らかになってきました。

その後、市内の事業所はどんどん増えて、現在は市内にある事業所
だけでも30事業所以上、もちろん市外の事務所でも、八千代市の利
用者さんにサービスを提供するわけですから、50事業所以上はある
と思われます。しかし2000年当時、訪問介護事業所として沢山の
サービス提供をしていた3事業所は、今はすでにありません。

当ユーアイやちよが、ずっと続けてこられたのは、先輩の方々、日々頑張っているヘルパーの皆さんや事務を執ってくれている方たち、そしてずっと応援して下さった賛助会員のみなさんのおかげです。感謝の気持ちでいっぱいです。

当初からユーアイやちよでは、制度、制度外のサービスを行ってききましたが、今“制度だけでは、在宅では暮らせない”と、制度外のサービスが重要視され、制度外でホームヘルプサービスを提供している事業所もたくさんあります。(もちろん、1時間当たりの料金は介護保険の利用料金並みですが)

こんななか、制度外サービス(ユーアイホームヘルプサービスや移動サービス)があるからOKではなく、住民参加型在宅福祉サービス団体の介護保険事業所としてどんなところをアピールできるでしょうか?最近、立ち位置という言葉をよく見ますが、NPOの事業所として、介護保険、障がい者サービスにおいても、利用者さん一人ひとりと大切にに関わることで、訪問介護員として、また事業所としても、選ばれる訪問介護事業所でありたいです。また、制度外でも、できるだけ個別なニーズの支えあい活動(有償、無償)を実践して、地域での生活を支えるNPOとしての立ち位置を意識していきたいものです。



12月定例会(身体介護)の様子

「語らいパートナーの会」 ～活動報告から～

1. Y・Aさん(90才女性)

かわいいエプロンをして、掴まりながら、迎えてくださった。秋物にいれかえして、昨日から着けはじめたとの事。椅子にかけ、お話もおやつもすすみ「二人が来てくれるから食べられるし元気が出る」と、おっしゃる。ご家族の事、大好きな民謡、昔のお茶のみ友達、ニュースで観る事件など、たくさんお話された。小さい洗濯物を干す時、腕が痛くて上がりにくい。足、膝、腰も立ち上がり時などに痛いとの事。

ボランティア会員 I. A

2. デイサービス(施設)でのお話し相手

今日、初めてデイサービスに来られた方とお話する。車椅子で…「私はここに来たくなかったのに、主人と娘が、いけ、いけて…仕方がないから…」と、自分の思いを次から次に語られた。「私は自分の好きな事を自宅でしたいのに」と。お花、パッチワーク、絵手紙が好きなどなど…。「ここで好きなことが出来るといいですね」そして、お友達もきっと出来ますよと、そう願った1日でした。

ボランティア会員 T

〇ユーアイサービス(助けあい活動)から～年経って

当時、3～4ヶ月の赤ちゃんの見守りのお手伝いでした。その時の子供さんが、10歳になりますから、もう、10年前のことになります。

勤務先からの海外留学で、家族みんなで渡米する前の準備で忙しく、2～3回のお手伝いでしたが、とてもよろこんでいただきました。帰国された時も我が家に寄ってから、東京の住まいに帰っていかれました。

今でも忘れずに、毎年子供さんの成長ぶりを知らせてきて下さいます。

最近は逢っていませんが、私の助けあい活動での一つの宝物となっています。

肝付

〇ご支援をいただきました。平成22年度 賛助会員(順不同、敬称略)

T.T、K.S、H.M

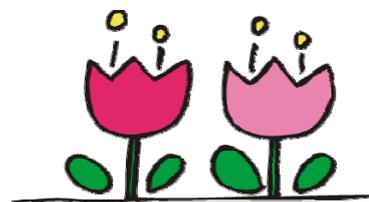
*昨年度ご協力くださいました皆様、22年度もどうぞ、よろしくお願い申し上げます(一一)

振込み先：千葉銀行新八千代支店 (普通) 3266357
特定非営利活動法人ユーアイやちよ
代表理事 桃井 哲朗



● 微笑みの輪 ～ヘルパーのリレーメッセージ～

松田 ふき子さん



- (1) ユーアイやちよに入会してどのくらい？
10年5ヶ月
- (2) 好きな言葉は？
心をこめて人に逢う 優しさをこめて人にあう
愛をこめて人にあう 出逢いをいつも大切に
自分をいつも大切に
- (3) 仕事で心がけていることは？
・ 玄関先で大きな声での挨拶「松田さん元気だね！」
・ リスクのない介護
- (4) 利用者さんとの思い出、心に残っている言葉は？
「あんたにお世話になったこと、ズーッとズーッと忘れないネ」
「ユーアイのヘルパーさんは皆さんいい人でよかった」
- (5) 仕事以外で楽しいことは？
・ リフォーム洋裁ボランティア、ガーデニング（草花）、洋裁

次回のヘルパーさんをご紹介ください

山岸さん

★行事報告

- 22年 1/16 新年会
1/21 語らいパートナー定例勉強会
1/19、20 地域福祉の再構築に向けて（地域主権における非営利活動の役割）
1/23 すこやか“まち”づくりセミナーin ちば 主催：千葉県社協
1/29 認知症キャラバンメイト養成研修
2/4 「意欲を引き出すカウンセリング」 主催：介護労働安定センター
2/13 たすけあい協議会 印旛ブロック交流会
2/16、17 住民参加型団体・運営者の広がりと発展を目指す
2/27 定例会 研修 グループ討議「いろいろな利用者さんに合ったケア」
2/27 “本人らしい生き方”を支えるコーディネートとは
主催：千葉県たすけあい協議会 四街道文化センター
全国社会福祉協議会

3/6	ユーアイやちよボランティア活動会員交流会	
3/10	認知症サポーター研修会	ふれあいサロン
3/12	“スタッフ集れ”	八千代市事業者協議会
3/18	傾聴学習一気持ちいい話し相手になるとは	語らいパートナーの会
3/20	定例会 研修 「1年をふりかえって、心に残ったこと」	各自発表



☆行事予定

4/17	定例会 研修「食中毒と感染症予防」	
4/25	「精神障がい者の理解と対応について」千葉県ホームヘルパー協議会	
5/15	22年度総会	
	講演「地域に暮らす人びとへの支援の方向とユーアイやちよへの期待」	
	講師 全社協政策企画部広報室長 山下興一郎氏（元、当会理事）	
5/28、6/4、11（3日間）	傾聴ボランティア講座（5/1 八千代市広報募集）	
6/19	定例会 研修 救急法	八千代市消防署

編集後記

20歳頃、奈良の薬師寺の元住職、高田好胤（すでにお亡くなりになっています）さんが書かれた「愛に始まる」という本を読みました。内容はもう忘れてしまったのですが、一つだけ覚えている短歌があります。「務めてもな お務めても務めても 務めたらぬは務めなりけり」というものでした。自分がどんなに努力しても、人から認められないようなとき、足りないものはやはり努力だというものです。

これは「務め（努力）」だけではなく、いろいろな言葉に置き換えられるのだと思います。例えば、相手にいろいろな配慮をしても、相手から「配慮が足りない」と言われるかも知れません。そんな時、どんなに配慮していたと思っても、まだ足りなかったのだと思えるようになることが大切なのだと思います。「あなただって配慮が足りないじゃないか」と言いたい声をグッと抑えて、「これから気をつけます」と言えるようにならなければと思います。

こちらがそのように自分の至らなさを謙虚に受け止めたときに、相手が返してくる言葉を聞くことで、相手の人柄も見えてきます。言い過ぎを謝る人や、上に立って「これから気をつけろ」という人、いろいろな人と接することで、少しずつ自分も磨かれていくのだなと思います。

網干

ユーアイやちよ の あゆみ
編集人 網干 発行人 桃井 哲朗